



さいわいだより 2月号



令和3年 2月 1日
立川市立幸小学校
校長 千葉 貴樹

〒190-0002 立川市幸町 5-68-1 Tel 042-536-3961 Fax 042-534-6944 <http://www.tachikawa.ed.jp/es15/>

【教育目標】◎自分で考え行う子ども(重点目標) ○ねばり強くやりぬく子ども ○なかよく力を合わせる子ども ○心と体をきたえる子ども

「創意工夫」すること

校長 千葉 貴樹

「創意工夫」とは、目的を達成するために、よりよい方法をあれこれ考えをひねり出し、新しい考えや今までに考え出されなかった考えを出すことを言います。

この「創意工夫」は、新しいことをする時、上手くいかないことがある時、あるいは今までと状況や環境が変わって困ったことがある時などにとっても役に立ちます。

私が最近、これは「創意工夫だ」と感じたことを一つ紹介します。

先月の朝のあいさつ担当の5年生のことで。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、教職員も含めて全校の子どもたちは、声に出してあいさつを控えている状況です。

緊急事態宣言が発出されてから、私はいつも子どもたちに、声に出さずに、目や顔を合わせて、心の中で「おはようございます」と言いながら、心を込めてお辞儀をすることでも十分であると話しています。実際6年生の子どもたちを中心にそういうあいさつをしてくれて、とても爽やかに気持ちの良いあいさつを交わしています。

しかし、先月のあいさつ担当として5年生は、担任の先生も含めて何かできないか考えていました。

朝のあいさつ担当のお仕事は、幸小の伝統であるあいさつを、今まで以上に「気持ちのよい爽やかなあいさつ」にするために、月ごとの担当学年が進んであいさつをすることです。

そこで、5年生が考えたことは、「大きな紙に『おはようございます』と書いて見せながら、心を込めてお辞儀をすること」、「4年生以上が持っているタブレットを使って『おはようございます』と言っている姿を録画して見せること」の2つです。

こういうことをすることは私は「創意工夫する」と言うのだと思います。

緊急事態宣言という新たな厳しい状況の中、「声に出して朝のあいさつができない」という制限がかかったことを考慮して、あいさつ担当として、もっとあいさつの良さを知って実行してもらうために、よりよい考えをあれこれひねり出し、今までやったことのない新しい方法を生み出して実行したのです。

さすが4月から最高学年になる5年生です。これこそまさに、「創意工夫」です。

このことを、1月25日の放送全校朝会の校長講話の中で紹介しました。

他の学年の子どもたちも、お家でも学校でもそれ以外でも、学習や生活、運動・スポーツの中で、新しいことをする、新たな発想を取り入れたい時や上手くいかないことがある時、新たな環境になって困ったことがある時などに、この「創意工夫」をぜひ発揮してほしいなと思います。

「創意工夫」する時に大切なことは、何のために創意工夫をするか考え、制限がかかっていることなど克服すべきことをしっかり意識することです。今後も子どもたちの頑張りに期待するとともに、学校でも「創意工夫」ができるよう励まし支援していきたいと考えています。

2月 行事予定

1日(月) 委員会活動(5, 6)	15日(月) クラブ活動(3年生見学)、校内書写展終
2日(火) 安全指導	16日(火) 新1年生保護者会
3日(水) 心臓検診(1)	17日(水) 大縄週間始、さいわい塾
はっぴいスマイルクラブ(中止)	18日(木) 校外学習(6)
4日(木) 薬物乱用防止教室(5, 6)	19日(金) 校外学習(5)、アートキャラバン(6)
8日(月) 6時間授業(5, 6)、校内書写展始	22日(月) クラブ活動
10日(水) 落語キャラバン(4)、さいわい塾	24日(水) 大縄週間終、さいわい塾
12日(金) 避難訓練、中学校体験(6)(中止)	25日(木) 大縄記録会、租税教室(6)
13日(土) 4時間授業(1~6)	26日(金) 校外学習(4)、保護者会(5, 6)
3月当初の主な予定	1日 委員会活動(5, 6) 2日 保護者会(3, 4) 3日 さいわい塾
	4日 6年生を送る会 5日 保護者会(1, 2)

2月の生活目標「感じのよい言葉づかいをしよう」

2月の保健目標「教室の換気をしよう」

その時の場所や相手、状況を考えて好ましい態度で友達や家族と話せるように意識できると、相手も自分も良い気持ちで過ごすことができます。

学校薬剤師の先生から、「換気は30分に1回5分間が必要です。教室の対角線を結ぶように換気することがよいです。寒さの中でずっと窓を開けているのは体調を壊しやすいので、換気の仕方にも工夫が必要です。」とお話がありました。

☆クラブ活動

特別活動部 遠藤 淳

幸小では、月曜日の6校時に4年生以上の学年がクラブ活動を楽しんでいます。クラブ活動の良いところは、自分が興味をもって楽しめそうな所に所属し活動できることです。今年度は、コロナ禍の影響で、開始時期が遅れ、活動回数も減ってしまいましたが、各クラブで感染拡大予防に気を付けながら活動をしています。

さて、今年度のクラブ活動も残り2回となり、2月15日は、3年生のクラブ見学が行われ、自分の見たいクラブを参観して回ります（この日は、3年生も6時間授業で下校が遅くなります）。迎える側も、クラブの部長を中心に、自分たちのクラブの良いところをうまく伝えられるように準備をしています。3年生が楽しく、クラブ見学ができることを願っています。

☆なわとび週間

体育行事委員会 北川 久美

1月25日（月）から、短縄週間が始まっています。中休みになると「なわとびカード」を持って校庭に出て、友達と一緒に楽しく縄跳びに取り組んでいます。休み時間が終わると、「二重跳びのコツは何ですか」と質問しに來たり、「先生！目標だった13級まで合格したよ！」と報告しに來たりします。自分で目標を立て、そこに向かって努力をする子供たちの姿が素敵です。なわとびカードの内容は立川市の縄跳び検定と同じ項目にしています。市で行われる縄跳び検定に積極的に挑戦する子もいます。子供たちの体力向上を目指して、学校全体で盛り上げていきます。

☆冬の感染症

主任養護教諭 片岡 美和

冬は感染性胃腸炎やインフルエンザが毎年流行します。12月と1月については罹患した報告もなく、欠席も少なかったです。マスク着用は飛沫感染を最小限に留めており、石けんによる手洗いは体内にウイルスや菌を取り込みにくくしています。睡眠時間の確保や免疫力を上げるために、ご家庭での工夫や努力があり、そのお陰で、子どもたちは元気いっぱい外で遊んでいます。新型コロナウイルス感染症対策での毎日の対応ありがとうございます。

【 2月の学習活動から 】



【オリンピック（柔道）佐藤愛子さん】 （1年）

心に残るお話に合わせて、力強い実技も披露していただきました。



【あそび名人になろう！紙飛行機編】（1年）

学校管理員さんの内村光男さんから、よく飛ぶ紙飛行機の作り方を、教えていただきました。



まっすぐとぶかな？

1年生にとって、初めての縄跳び週間ですが、毎日元気に跳んでいます。6年間かけてどんどん上手になれるように、たくさん練習してください。

